

|                |   |
|----------------|---|
| まちづくりフォーラム     | 2 |
| いぶきフェスティバル2019 | 4 |
| 投稿ひろば          | 5 |
| 地域おこし協力隊だより    | 8 |

春



”さあ行こう!”  
ネットワーク友枝まち歩きチーム  
宇島鉄道跡地を完歩

3月17日(日)、ネットワーク友枝と宇島鉄道研究会の合同開催で、まち歩きイベント第20回、さあ行こう!「宇島鉄道跡地を歩こう!最終編」を開催しました。

今年は、昨年、一昨年と上毛町を歩いた続きで、豊前市までの約8kmのコースです。早朝からさんと輝く朝日の中で、スタッフが会場準備を行い、参加者が集まった時は、強風が吹き寒かったのですが、歩き出す頃には歩き日和になりました。

●問い合わせ先 ☎090-7478-0064(貴村)

約110名の参加者が無事に完歩しました。今回で宇島鉄道跡の全線を踏破したことになりますが、先人達の鉄道への強い思い入れがそのまま残っていて、大変感慨深く、また、それを後世へ伝えていくという方々の熱い想いに感動しました。

次回は、景色の良い所を歩きたいという意見が多かったようです。皆さんのおすすめの場所を教えてください。

## こうげはまる。

地域おこし協力隊という制度で上毛町に来てから約3年が経ち、任期を終える日がやってきました。振り返れば2015年のお試し移住(ワーキングステイ)に参加したのをきっかけに、有田集落にある研究サロンと「みらいのシカケ」という取り組みに心惹かれて2016年に移住。それからは上毛町という名前を広く認知してもらうための情報発信やイベントの企画運営、関係人口・交流人口の増加を目指すワーキングステイに加え、研究サロンを訪れるお客様の対応や地域の可能性の発掘と、忙しい毎日。今まで暮らしてきた東京や沖縄を離れ、九州・福岡の小さな町で過ごす日々には多くの学びや気づきがありました。

都市部で多くのモノ・コトにまみれて感じていたのは、自分にとって本当に必要なものはほんの一握りだということ。いくら沢山あっても、手に取るのは一つです。何であれ多くの中から選び取るには時間と労力、場合によってはお金がかかるけれど、そもそも選択肢が少なければそれらが節約できるし、「ないものは自分でつくる」知恵が身につきます。上毛町で暮らしながら都会にあるものを求めても仕方ないし、ここにしかないものだっていっぱいある。「この環境・人たちがいるからこそできること」を大切に、面白いものは積極的に取り入れ吸収し、チャレンジして楽しむ。地方が面白いのは、そんな風に発想豊かで実行力のある、遊び上手な人が沢山いるからだと思います。みんなタフで、知恵とユーモアに溢れている。3年という月日の中で、ここに来なければ出会えなかった人たちが起こり得なかった出来事の数々に出会えたことは、私にとって大きな財産になりました。

地域おこし協力隊  
小林未歩

©Miho Kobayashi